

毎月第4火曜日 14:00 ~ 16:00
若年性認知症の方が集える場

ハルカフェ

若年性認知症の方、その可能性や不安のある方
ご家族、支援者等が参加できます




【会場】

東部地域振興ふれあい拠点施設【ふれあいキューブ】4階
市民活動センター ぽぽら春日部

埼玉県春日部市南1丁目1-7

東武スカイツリーライン・アーバンパークライン 「春日部駅」西口徒歩5分

【お問合せ先】

若年性認知症サポートセンター 

☎ : 048-814-1212

✉ : jakunen2017@sage.ocn.ne.jp

春日部市第5地域包括支援センター

☎ : 048-734-7631

春日部市役所 介護保険課 地域支援担当

☎ : 048-736-1111



令和5年度
若年性認知症自立支援ネットワーク研修

居場所作りの報告

ハルカフェ

(春日部市)

ができるまで

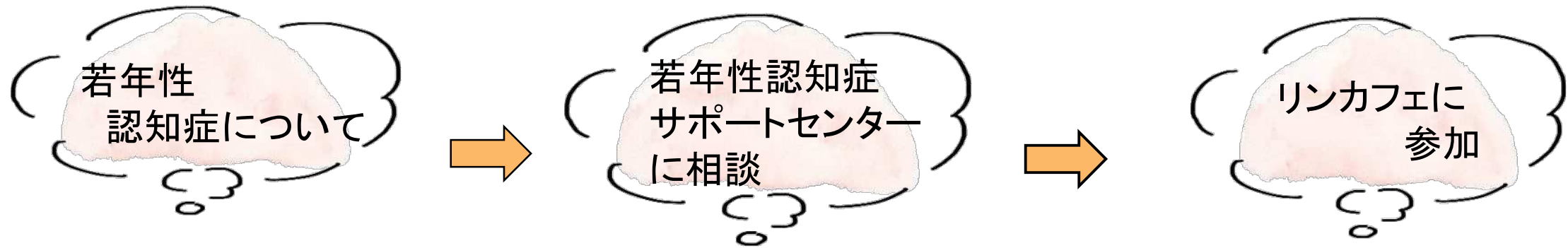
春日部市第5地域包括支援センター
大塚 浩司



埼玉県庁ホームページより引用

春日部市の地域包括支援センターは
市内を8つの圏域に分け、春日部市より委託を受けた法人が運営しております

1 ケアマネ向け研修会のテーマとして（令和4年7月）



**春日部市で
できる事は？**

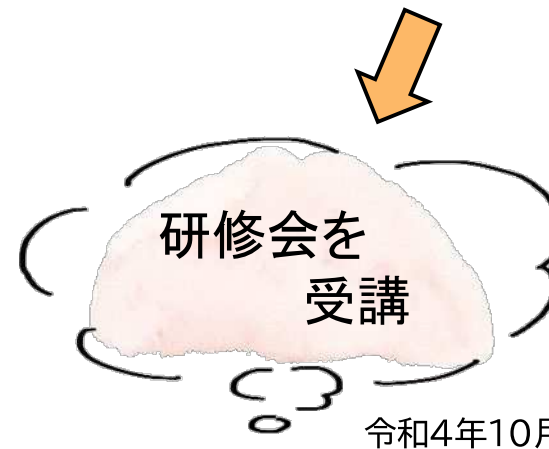


第5包括



第5包括

- ・春日部市から参加している人がいる
- ・誰が参加者で誰が支援者？
- ・白熱した卓球大会
- ・同じ話の繰り返し



2 市役所の担当職員との雑談の中で (令和4年11月)



市役所職員

- ・春日部市職員も行ってみるよ！
- ・ジェンガを楽しませてもらった



共通の理解を持つことができた



春日部でもできるかもしれないね

3 市役所の担当職員と打合せ (令和4年12月)

駅近の会場

若い人の
つどいの場

役割分担は
どうする？

オレンジカフェ
とは違う

一緒にwiiを
やってみたい

参加者がいる
か分からない



「誰が主催者になる？」みたいな話はどこでもあると思います。
この段階では、対外的にキッチリした方が良いことは市役所で、
柔軟に動いた方が良い時は包括で。というようにあやふやに柔軟に、
最大限メリットがある形で動いていこう。と決めました。
ざっくばらんに意見が言い合える関係だったと思います。

4 春日部市民がオレンジ大使に！？ (令和4年12月)

- 春日部市在住の方が認知症本人大使に任命されるらしい。
- 2月に任命式があるらしい。
- 春日部の若年性認知症カフェに協力してくれるらしい。



5 コーディネーターを交え初打合せ (令和5年1月)



- 会場が決定
- コーディネーターより本人大使に協力依頼済み
- 開催日は本人大使の予定を元に決定
- 任命式に春日部市3名参加OK
- 3月にプレオープンをしてみよう

- 参加対象は？
若年性認知症当事者のみ？
65歳以下の高次脳機能障害診断の人は？

「私たちは、若年性認知症当事者だけに限らず、40、50、60歳代の若い方が思い立って相談できる場にもしたいと思っていました。これは、通常業務で脳出血等で高次脳機能障害のある方の相談は複数受けているので、同じ世代で交流の場にならないか？と考えていたからです。

症状は似ているが、進行するしないという点で大きな違いがあり、参加者同士で戸惑ってしまうのではないか。という意見もあり、はじめは若年性認知症当事者のみにしよう。となりました。

しかし、決める以前に高次脳機能障害をお持ちの方もどうぞ。と周知していたので、現在参加されています。素敵な2人の人柄により、楽しい時間となっていますが、どちらがいいのかは判断できません。



6 本人大使 三村さんの任命式 (令和5年2月)

- ・ 自宅も近くだという事が分かり親近感が
- ・ ご夫妻共に気さくにお話して下さる
- ・ 若年性認知症カフェのプレオープンにご協力頂くことに



7 プレオープンへ向け市内へ協力要請 (令和5年2月)



8 プレオープン！そしてハルカフェへ (令和5年3月)



※ゲームに当たった
三村さん夫妻による命名

春日部市 若年性認知症 講演会

認知症と ともに生きる

若いも
若くても

～今を楽しく 今を大切に～



場所
春日部中央公民館
『ウイスかすかべ』
(春日部市船場6918-1)

日時
9月15日(金)
10:00~12:00

定員
当日先着順300名
申込不要

入場受付は9:30からとなります

【第1部】 『人生楽しむっきゃない!』

埼玉県オレンジ大使 三村 博寄 様 (奥様) 三村 富士子 様

【第2部】 『楽しむっきゃない!を支えるために』

埼玉県若年性認知症サポートセンター

若年性認知症支援コーディネーター 佐藤 史子 様

【第3部】 『みんなで楽しむっきゃない!』

これでいいのだバンド と 会場の皆様

埼玉県オレンジ大使とは...

認知症の理解をより深めていただくためには、認知症本人からの意思を発信する機会を増やすことが重要です。そこで埼玉県では、認知症になっても地域で自分らしく暮らしており、認知症の普及啓発に意欲のある方に大使の任命をしました。
[埼玉県ホームページより]

【お問合せ先】

春日部市役所
介護保険課 地域支援担当
☎ 048-736-1111

春日部市
地域包括支援センター

参加無料

三村 博寄 様 (春日部市在住)
・2014年、水頭症の診断を受ける。2019年、アルツハイマー型の若年性認知症と診断される。現在は「これでいいのだバンド」(認知症本人や作業療法士によるバンド)で口笛、歯笛で参加。「言葉に出すことは大事」と認知症当事者の気持ちを講演活動などを通して伝えることに意欲を持っている。2023年2月埼玉県知事よりオレンジ大使に任命される。



自分達だけでは難しい
自分達から繋がりを求める

参加者は誰でも歓迎
ただし、既存のオレンジカフェとはすみ分ける

集いの場ができたことで100点
参加者ゼロでも開催することに意義がある

ただただ一緒に楽しむ

広く周知する
新規参加者がくる状況に

一人では難しい…

埼玉県

春日部市

それぞれの
得意分野で

ハルカフェ

人が人をつなぐ



○ マスター夫人を中心に
情報交換



○ リラクゼーション



○ テーブルテニス



参加者:26名 (10月)
内当事者・家族:12名



○ 仕事してた話

多くの協力者を見つける

講演会直前、三村さんの体調が優れず、色々心配しました。

急きょ車いすでの参加となり、福祉用具貸与事業者が車いすとステージに上がるためのスロープを無償で貸してくれました。

バンド演奏では、会場に集まった方にも手作り楽器を持っていただき総勢150人以上の人が音楽を一緒に楽しみました。

この楽器も、ハルカフェ🌸メンバー、オレンジカフェ参加者、市内デイサービスのご利用者様が作って下さいました。いろんな形で多くの方の協力をいただきました。

プレオープンから毎回参加してくれている高次脳機能障害をお持ちのYさんもリハビリにピアノ演奏が良いということで、ピアノ教室に通い、練習し一緒に演奏してくれました。来年度は自分が高次脳機能障害についての講演会がしたい！と話してくれました。

Yさんは、同じ高次脳機能障害で不自由を感じている方もハルカフェ🌸に誘ってくれて、その方も毎回参加してくれています。

2人ともハルカフェ🌸を明るくしてくれる素敵な方です。私たちもどんなことに悩んでいるのかリアルな話を聞いて勉強になります。

ハルカフェ🌸の開催継続のために

ハルカフェ🌸に色々な縁をいただいています。

やはり、当事者の集いなので、当事者同士の交流が大切と考えます。抱えた不安を共有できる場所、雰囲気継続していくためにも当事者の参加を継続的に維持するための周知活動が必要です。

集う場所が複数あることで、認知度も高まり、参加しやすくもなります。ハルカフェ🌸だけでなく、他の新たなカフェにつなぐことができれば参加者の喜びになると思います。

集いの場を作ることに、色々障壁が多いと思います。しかし、やってみようと思っている皆さんならできると思います。

12月26日(第4火曜日)ご興味のある方は春日部市に見学ではなく参加しにお越しください。

詳細は春日部市ホームページ又は埼玉県ホームページまで。



ご清聴ありがとうございました。